

標準委員会 第18回基盤・応用技術専門部会議事録

1. 日 時 2012年11月26日（月） 10：00～12:00
2. 場 所 5東洋海事ビル 会議室B
3. 出席者（敬称略）
 - （出席委員） 岡本（部会長），萩原（副部会長），吉田（幹事），石川，笠原，北島，塚，坂本，田中，沼田，日比，宮坂（12名）
 - （代理委員） 前田（（株）テプコシステムズ／宿谷委員），湊（日立GEニュークリア・エナジー（株）／西田委員）（2名）
 - （欠席委員） 市川，岩崎，上野，浦上，越塚，山口（6名）
 - （委員候補） 松本（1名）
 - （説明者） [廃止措置分科会] 武部，立花，齊藤，初岡，福土，鳥居，落合（7名）
 - （事務局） 室岡，新井（2名）

4. 配付資料

- ATC18-0 議事次第
- ATC18-1 前回議事録（案）
- ATC18-2 人事について
- ATC18-3 「 γ 線ビルドアップ係数標準」公衆審査 途中報告
- ATC18-4-1 「発電用原子炉施設の廃止措置時の耐震安全の考え方」本報告について
- ATC18-4-2 「発電用原子炉施設の廃止措置時の耐震安全の考え方」標準策定の概要
- ATC18-4-3 「発電用原子炉施設の廃止措置時の耐震安全の考え方：20XX（案）」
- ATC18-4-4 附属書B（参考）廃止措置の進捗に応じた耐震重要度分類の例（ATC18-4-3の部分差し替え）
- ATC18-4-5 第27回廃止措置分科会議事録（抜粋）
- ATC18-5-1 「試験研究炉及び核燃料取扱施設等の廃止措置の計画：20XX」比較表
- ATC18-5-2 「試験研究炉及び核燃料取扱施設等の廃止措置の計画：20XX」完本版
- ATC18-参考1 基盤・応用技術専門部会委員名簿
- ATC18-参考2 標準委員会の活動状況

5. 議事内容

事務局から，開始時，委員21名中，代理委員を含めて14名が出席しており，成立に必要な定足数（14名以上）を満足している旨報告された。

(1) 前回議事録（案）の確認（ATC18-1）

事務局から，前回議事録（案）について説明があり，前回議事録（案）は承認された。

(2) 人事について

事務局から，資料ATC18-2に基づき，専門部会及び分科会の人事について以下のとおり紹介を行った。

1) 専門部会

①委員の退任【報告事項】

新保 仁（東京電力（株））

②新委員の選任【決議事項】

松本 洋志（東京電力（株））

③委員の再任

坂本 幸夫（アトックス）

審議の結果、松本氏の選任及び坂本氏の再任が決議された。また、岡本部会長の任期満了に伴い部会長の互選投票を行った結果、岡本委員13票、萩原委員1票で、岡本部会長が再選された。副部会長に萩原委員、幹事に吉田委員が指名された。

2) 分科会

①委員の退任【報告事項】

廃止措置分科会

高見 保清（立教大学）

②委員の選任【承認事項】

廃止措置分科会

三橋 偉司（東京都市大学）

審議の結果、分科会の1名の委員の選任が承認された。

3) 委員の所属変更に伴う委員数の取扱について【報告事項】

2012年9月19日に原子力規制委員会原子力規制庁が発足したことに伴い、旧原子力安全・保安院に所属していた標準委員会委員（専門部会、分科会含む）の人事については標準委員長預かりとし、当面、委員数を1名減として活動することが報告された。

①専門部会

金子 真幸（経済産業省 原子力安全・保安院）

②分科会

放射線遮蔽分科会

辻 政俊（経済産業省 原子力安全・保安院）

廃止措置分科会

澁谷 朝紀（経済産業省 原子力安全・保安院）

(3) 【報告・審議】「γ線ビルドアップ係数標準」の公衆審査 途中報告（ATC18-3）

事務局から資料ATC18-3に基づき、10月1日から11月30日の期間で行われている公衆審査について現時点では意見がないとの途中報告があった。また、意見があった場合は通常通りの対応をするが、このまま意見が出ない場合は、12月4日開催の第51回標準委員会で制定審議にかけたいとの申し出があった。

期間中に意見がなければ、第51回標準委員会で制定審議にかけることが承認された。

(4) 【本報告】「試験研究炉及び核燃料取扱施設等の廃止措置の計画：20XX」（ATC18-5-1，ATC18-5-2）

資料ATC18-5-1，ATC18-5-2に基づき、廃止措置分科会の武部常時参加者、立花委員、齊藤氏から、「試験研究炉及び核燃料取扱施設等の廃止措置の計画：20XX」標準案についての本報告があった。特に大きなコメントはなく、書面投票に移行することが決議された。

書面投票は、「実用炉標準との関係について注釈する」、「対象となる加工施設の範囲

を注釈する」等のコメントを反映し、12月中旬～1月中旬の1ヶ月間を予定する。

(5) 【本報告】「実用発電用原子炉施設等の廃止措置の耐震安全の考え方:20XX」(ATC18-4-1～5)

ATC18-4-1～5に基づき、廃止措置分科会の初岡委員、鳥居常時参加者、耐震安全作業会の福士委員、落合委員から「実用発電用原子炉施設等の廃止措置の耐震安全の考え方:20XX」標準案についての本報告があった。特に大きなコメントはなく、書面投票に移行することが決議された。書面投票は、12月中旬～1月中旬の1ヶ月間を予定する。

6. その他

- ・次回専門部会は、2013年2月26日午前中に開催することとした。

以上